

研究課題名：尿路上皮がん（腎盂尿管膀胱がん）の放射線治療に関する研究

研究対象：

1990 年から 2015 年までの期間に国立がん研究センター中央病院で尿路上皮がん（腎盂尿管膀胱がん）の放射線治療をうけた患者さんの診療録を対象とした観察研究です。

研究の概略：

尿路上皮がん（腎盂尿管膀胱がん）の治療方針はそれぞれのがんの進行度や患者さんの背景によって異なりますが、根治的治療としては手術が施行されることが一般的です。高齢化を迎えた日本においては手術が合併疾患などのために施行できないことも臨床現場では良く遭遇する状況となっています。他のがん種においてはその場合には放射線治療の有用性が明らかになっていますが、尿路上皮がんに対しては放射線治療の有用性が定まっていません。本研究の目的はこの対象疾患に対して放射線治療を受けた患者さんの治療成績を検討することで、放射線治療の有用性を明らかにすることです。

研究の意義：

尿路上皮がん（腎盂尿管膀胱がん）に対する放射線治療の成績を確認することにより、有用性について検討し、今後の対象患者さんに対して情報提供ができることにつながります。

目的：

尿路上皮がん（腎盂尿管膀胱がん）に対する放射線治療の成績を検討すること。

方法：

1990 年から 2015 年までの期間に国立がん研究センター中央病院で尿路上皮がん（腎盂尿管膀胱がん）に対する放射線治療をおこなった方の診療録を用いて、治療内容や治療効果、副作用などについて検討します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します（患者さんのカルテ番号と別に作成した本研究用の ID を連結可能匿名化し、対応表は別に管理します）。個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申して出てください。

利益相反：

臨床研究における利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。本研究では利益相反はありません。本研究における利益相反の管理は、国立がん研究センター利益相反委員会が行っていますので、詳細をお知りになりたい場合は、照会先までお問い合わせ下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 稲葉浩二

TEL 03-3542-2511